

はじめての 芝生の校庭

～ 芝生を知ろう！楽しもう！育てよう！～



特定非営利活動法人 芝生スクール京都

はじめに

この本は、これから芝生の校庭ができるというみなさん、芝生の校庭ができて、これから使いはじめるというみなさん、そして、もう芝生の校庭を使っているというみなさんにも、芝生と芝生の校庭のことをよく知ってもらうことによって、芝生の校庭と仲良くなって、より楽しく、より長く、よりたくさん、芝生の校庭の上で楽しい時間を過ごしてもらうことができるようになればと思って書いたものです。

芝生の校庭のことをよく知って、ぜひ、芝生の校庭と仲の良いともだちになって、芝生の校庭を好きになってもらえたらと思います。そして、ともだちの芝生の校庭とよく遊んで、ともだちと芝生の校庭といっしょに楽しい毎日をおくってもらえたらうれしく思います。

では、これから、芝生ってどんな生きものなのか、芝生の校庭はどうやってできるのか、芝生の校庭のよいところ、芝生の校庭の楽しみ方、そして、芝生の育て方など、芝生の校庭についてたくさんを紹介していきます。

ぜひ、最後まで読んでくださいね！

もくじ
目次

はじめに P. 1

だい しょう しばふ
第1章 芝生ってなんだろう P. 5

◇ 1. わたしたちと芝生^{しばふ} P. 7

◇ 2. 芝生と芝草^{しばふ しばくさ} P.11

◇ 3. 芝草のからだ^{しばくさ} P.13

◇ 4. 芝草の種類^{しばくさ しゅるい} P.16

だい しょう しばふ こうてい
第2章 芝生の校庭ができるまで P.19

◇ 1. 芝生をつくる場所を調べる^{しばふ ばしょ しら} P.22

◇ 2. 排水せつびをつくる^{はいすい} P.25

◇ 3. 土をよくする^{つち} P.26

◇ 4. 芝生を植えつける^{しばふ う} P.28

◇ 5. じょうぶな芝生に育てる^{しばふ そだ} P.33

だい しょう しばふ たの かた
第3章 芝生の楽しみ方 P.35

◇ ふかふかやわらかい！ 転んでも痛くない！^{ころ いた} P.37

◇ ひんやりすずしい！ P.38

◇ すな 砂ぼこりがたたない！	P.39
◇ ほか たの 他にも楽しいことがたくさん！	P.40
だい しょう しぼ ふ そだ かた 第4章 芝生の育て方	P.43
◇ はじめに	P.45
◇ しぼ か 1. 芝刈り	P.46
◇ みづ 2. 水やり	P.55
◇ ひりょう 3. 肥料まき	P.57
◇ す ない 4. 砂入れ	P.60
◇ あな 5. 穴あけ（コアリング）	P.61
◇ あき 6. オーバーシード（秋のタネまき）	P.63
◇ 7. 養生（ようじょう）	P.66
おわりに	P.69
さんこうぶんけん 参考文献／サイト・写真出典	P.71



コラム「しぼふのちしき」

① しぼ ふ なか も つか かた 芝生を長持ちさせる使い方	P.42
② しぼ ふ うえ ひ ほうほう 芝生の上にラインを引く方法	P.42
③ しぼ ふ み 芝生がしましまに見えるのはなぜ？	P.54

だい しょう 第1章

しばふ 芝生ってなんだろう

～いきている芝生～

サッカー選手や野球選手がかけまわる大きなグラウンドは、
まるで「みどり色のじゅうたん」のような芝生でおおわれて
います。わたしたちの周りにも、お庭や公園、植物園には
きれいな芝生がありますね。いったい芝生ってどんなもののな
のでしょうか。いっしょにみてみましょう！

◆ この章の内容は、『21世紀校庭緑化研究会』(<http://www.koutei.jp/>)の許可のもと、21世紀校庭緑化研究会ホームページ内サイト『芝生キッズクラブ』(<http://www.koutei.jp/kids/>)の内容をベースに、芝生スクール京都での事例を書き加えた形で編集しています。

1. わたしたちと芝生^{しばふ}

見ていてなごむ、みどりの芝生^{しばふ}。ひんやりして、やわらかで、ふかふかで、ふれあうと気持ちのよい、やさしい芝生^{しばふ}。思^{おも}いっきり走りまわったり、転^{ころ}げまわったりして遊ぶことのできる、楽しい芝生^{しばふ}。

みなさんは、どんなところでそんな芝生^{しばふ}を見つけたことがありますか。わたしたちの身近にある芝生^{しばふ}を見つけながら、わたしたちにとって芝生^{しばふ}ってどんな存在^{そんざい}なのか、はじめに考^{かんが}えてみましょう。

公園^{こうえん}や植^{しょく}物園^{ぶつえん}に行けば、ひろい芝生^{しばふ}の広場^{ひろば}があるところがあります。芝生^{しばふ}の上^{うへ}でお弁当^{べんとう}を食べたり、はだしで走りまわったり、ねころんだり、ふかふかとした芝生^{しばふ}の上^{うへ}で自由^{じゆう}で楽しい時間^{じかん}を過ごすことができる場所^{ばしょ}ですね。みなさんにもきっとそんな楽しい思い出^{おもいで}があるとおもいます。

◆ 芝生^{しばふ}の公園^{こうえん}のようす



京都駅^{きょうとえき}の近^{ちか}くの梅小路公園^{うめこうじこうえん}です。みんな芝生^{しばふ}の上^{うへ}で走りまわったり、お弁当^{べんとう}を食べたり、ねころがったり、思い思いに楽しい時間^{じかん}を過ごしています。

第1章 芝生ってなんだろう

お庭^{にわ}にも芝生^{しばふ}があります。
西洋風^{せいようふう}のお庭^{にわ}だけでなく、日本の^{にほん}
お庭^{にわ}（日本庭園^{にほんていえん}）でも、芝生^{しばふ}をと
り入れた美^{うつく}しいお庭^{にわ}があります。
みているだけで心^{こころ}が落ち着^おいて、
ゆったりとした気持^{きも}ちになれます
ね。

サッカー場^{じょう}や野球場^{やきゅうじょう}、ラグビ
ー場^{じょう}、ゴルフ場^{じょう}などのスポーツ
を行^{おこな}う場所^{ばしょ}でも、芝生^{しばふ}の上^{うへ}でゲー
ムが行^{おこな}われていますね。

転^{ころ}んでもけがをしにくい芝生^{しばふ}の上^{うへ}では、安心^{あんしん}して、思いっ^{おも}きりプレーするこ
とができるからです。また、砂ぼこり^{すな}がたって、プレーがじゃまされることも
ありません。スポーツをするにも、楽しむにも、芝生^{しばふ}はかせません。

◆ 芝生^{しばふ}のお庭^{にわ}のようす



梅小路公園内にある「朱雀の庭」です。
芝生^{しばふ}のきれいなお庭^{にわ}です。

◆ 芝生^{しばふ}の上^{うへ}で楽しむスポーツ^{たの}

【写真出典1】



第1章 芝生ってなんだろう

また、アメリカやヨーロッパなどの国々では、まちのなかには芝生の場所がたくさんあって、大人も子どもも、腰をおろして話をしたり、本を読んだり、ねころんだり、スポーツをしたりして、ゆったりとした楽しい時間を過ごす大切な場所になっています。

◆ フランス・パリの公園



ヨーロッパの国々では人々のくらしの中に芝生が根づいています。

それから、「芝居」という言葉を知っていますか。テレビのドラマなどで俳優さんが行う演技や、舞台の上で行う劇のことなどをこう言いますね。この言葉は「芝」に「居」（居る）という字を書きますが、それはどうしてでしょうか。

日本では昔から、お寺や神社で舞いやおどりなどの芸を行って、豊作や幸せを願うことが行われていました。そして、そこからいろいろな舞いやおどりの芸が生まれたと言われています。

15世紀の室町時代には、そうした芸が芝生の上で行われるようになり、それを見る人も「芝」の上に「居」て、その芸を見ていました。最初は、すわっている芝生のことや見ている人のことを「芝居」とよんでいましたが、だんだんと芸を行う場所全体をさす言葉になりました。

そして、さらに、そこでおこなわれる芸や、その演技を「芝居」というようになっていったのです。

「芝居」という言葉は、日本でも昔から人々が芝生と一緒にくらししていたことのあかしです。

第1章 芝生ってなんだろう

たいしょうじだい かつ とうようしじん かねこみすず (1903-1930) は、そのころ、子ども
もの遊び場だった原っぱの芝生をいとおしくおもって、こんな詩を書きました。

しばくさ 芝草

な しばくさ
名は芝草といふけれど、
その名をよんだことはない。

それはほんとにつまらない、
みじかいくせに、そこら中、
みちのうえまではみ出して、
ちから 力 しばくさ
いつぱいりきんでも、
とてもぬ 抜けない、つよい草。

げんげはあか はな さ
げんげは紅い花が咲く、
すみれはは 葉までやさしいよ。
かんざし そう
かんざし草はかんざしに、
きょう 京 ぴななんかはふえ 笛になる。

けれどももしか原っぱが、
そんな草たちばかりなら、
あそびつかれたわたし等は、
どこへこし 腰かけ、どこへね 寝よう。

あお じょうぶ
青い、丈夫な、やはらかな、
たのしいねどこよ、しばくさ
芝草よ。

むかし から、しばくさ うえ、こ どもにとっても、おとな にとっても、ゆったりとやす
いだり、心 ころ ゆくまであそ 遊んだりできる、たの 楽しい場所なのです。しばくさ
ちにそんな場所をあたえてくれるのです。

2. 芝生と芝草

ひろびろとした芝生は、まるでみどり色のじゅうたんのようです。そんな芝生に顔を近づけて、よく見してみると、どんなようすをしているのでしょうか。見ていってみましょう。

「芝草」の集まりが「芝生」

芝生に顔を近づけて、よく見みると、短くて、小さな草が、たくさん集まっています。その小さな草がびっしりと生えているので、じゅうたんのように見えるのです。

そうやってたくさん集まって生えている、小さなひとつひとつの草のことを、「芝草」といいます。そして、その「芝草」が集まってじゅうたんのようになったものを「芝生」と言います。

◆ 近づいて見た芝生



第1章 芝生ってなんだろう

芝草は、ひとつひとつは短くて小さな草ですが、じょうぶでしっかりとしています。そんな芝草が集まってできているので、芝生もじょうぶです。そんなじょうぶな芝生だから、その上に人が乗って遊ぶことができるのです。

短くて小さいけど、じょうぶでしっかりとしている「芝草」ですが、どんな形やすがたをしているのか、次に、もう少しくわしく見ていきましょう！

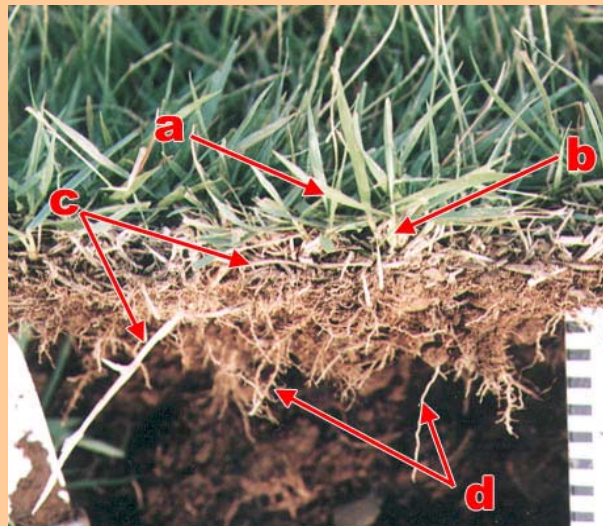
3. ^{しばくさ}芝草のからだ

^{しばくさ}芝草の^は葉、^{くき}くき、^ね根

^{しばふ}芝生に近づいて、^{しばくさ}芝草の生えているところを^{よこ}横から見ると、^{した}下の^{しゃしん}写真のようになっています。

◆ ^{よこ}横から見た^み芝生

【写真出典1】



^{しばくさ}芝草も、ほかの^{くさ}草と同じように^ね根や^は葉や^{くき}くきに分かれていて、それぞれの^{ぶぶん}部分が、大切な役目を果たしています。上の写真から、芝草のおもな部分を紹介したいと思います。

【 ^aの部分 … ^は葉 】

^{たいよう}太陽の^{ひかり}光と、^{みず}水と、^{くうきちゆう}空気中の^{にさんかたんそ}二酸化炭素をつかって、^{おお}大きくなるための^{えいよう}栄養をつくります。

第1章 芝生ってなんだろう

【bの部分… 直立茎（ちよくりつけい）】

まっすぐ^{うえ}上に^の伸びるくきです。このくきから^は葉^だを出します。

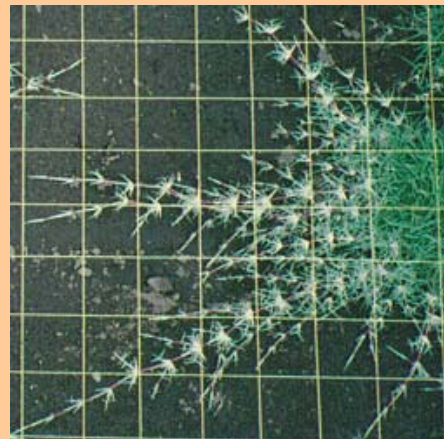
【cの部分… ほふく茎（ほふくけい）】

“ほふく”とは「(地面を)はう」
という^い意味^みです。その^い意味^みのとおり、^{うえ}上には^の伸びないで、^{じめん}地面を^のはうように^{よこ}横に^のどんどん^の伸びるくきです。^{つち}土の^{した}下にも^{よこ}ぐって^の横に^の伸びるほふく^{けい}茎もあり、それは「地下ほふく茎（ちかほふくけい）」
と言^いいます。

ほふく^{けい}茎には^{すう}数センチメートルごとに^{ふし}節（ふし）とよばれる^{ぶぶん}部分^のがあって、そこから^{ちよくりつけい}直立茎や^ね根^だを出します。

◆ ほふく^{けい}茎

【写真出典1】



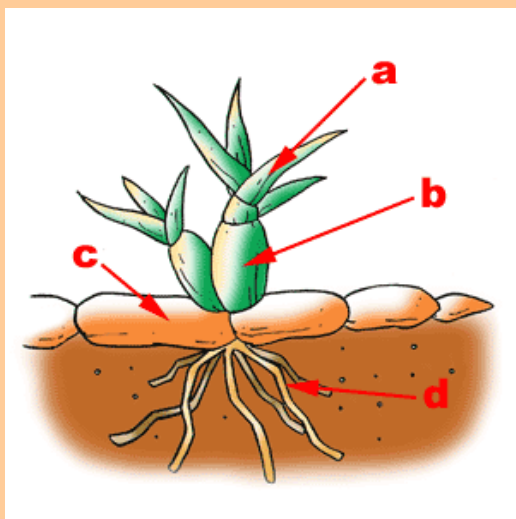
【dの部分… 根】

^{つち}土の^{なか}中に^の伸びていく^ね根^のです。芝草は、この^ね根から^{つち}土の^{なか}中の^{えいようぶん}栄養分や、^{みず}水や^{さんそ}酸素^とを取り^こ込みます。

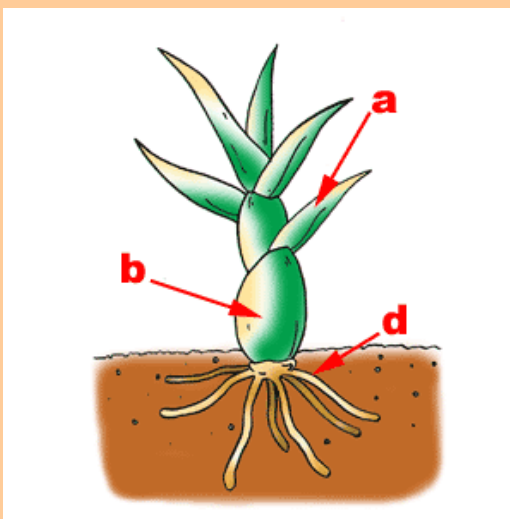
芝草^の中には、ほふく^{けい}茎^のがない^{しゅるい}種類や、ほふく^{けい}茎^のがあってもあまり^の伸びない^{しゅるい}種類もあります。それらの^{しゅるい}種類の芝草は^{よこ}横には^のあまりの^{うへ}伸びず、^む上に向かって^の伸びるので「^{ちよくりつがた}直立型^のの芝草」と言^いいます。ほふく^{けい}茎^のをもっている^{しゅるい}種類の芝草は「^{がた}ほふく型^のの芝草」と言^いいます。

第1章 芝生ってなんだろう

がた しばくさ
ほふく型の芝草



ちよくりつがた しばくさ
直立型の芝草 【写真出典1】



しばくさ はな ほ 芝草の花（穂）

芝草も、どんどん伸びていくと、アサガオやヒマワリなどと同じように花を咲かせます。とても小さな花で、「穂（ほ）」とよばれます。そして、花が咲いたあとには、タネを实らせます。ただし、芝草の種類によっては花が咲かないものもあります。

芝草も、ほかの植物と同じように、タネから芽をだして大きくなります。そうして、たくさんの芝草が生えると、緑色のじゅうたんのような芝生になるのです。

はな
◆ コウライシバの花【写真出典1】



4. 芝草の種類

芝草には、たくさんの種類があります。大きく分けると、「夏芝」と「冬芝」という二つのグループがあります。

夏芝（なつしば）

「夏芝」とは、もともと気候があたたかいところに生えていた芝草で、暑さを好み、乾そうにも強く、夏に一番よく伸びます。だから、「夏芝」とよびます。逆に、寒さには弱く、冬になると伸びなくなり、枯れて、色も茶色になってしまいます。春になると、ふたたび伸びはじめ、夏芝もふたたび緑色になります。また、日なたが大好きで、日かげではあまり生長しません。

「夏芝」のグループの芝草には次のようなものがあります。

- ・ ノシバ
 - ・ コウライシバ
 - ・ バミューダグラス
 - ・ セントオーガステングラス
- など

みな、同じ「夏芝」の仲間ですが、それぞれに少しちがう特ちょうがあります。この中でも、特に「バミューダグラス」とよばれる芝草が、一番よく伸び、広がるのも早いという特ちょうがあります。

◆ バミューダグラスの芝生



第1章 芝生ってなんだろう

冬芝（ふゆしば）

「冬芝」とは、もともと、すずしい場所に生えていた芝草で、寒さに強く、冬でも枯れずに一年中緑色をしています。そのかわり、夏の暑さや乾そうには弱く、夏のとても暑いときには、暑さに負けて枯れてしまうこともあります。また、「冬芝」には日かげにも強い芝草もあります。

「冬芝」とよびますが、春や秋の気候を一番好み、春や秋に一番よく伸びます。冬でも枯れずに緑のままなので「冬芝」とよびます。

「冬芝」のグループの芝草には、次のようなものがあります。

- ・ ケンタッキーブルーグラス
- ・ ペレニアルライグラス
- ・ トールフェスク
- ・ ベントグラス

など

◆ ペレニアルライグラスの芝生



にほんしば せいようしば 日本芝と西洋芝

芝草は「日本芝」と「西洋芝」という分け方もできます。明治時代よりも古い時代から日本に生えていた芝草を「日本芝」と言います。「日本芝」は夏芝のグループの芝草で、ノシバやコウライシバなどが「日本芝」です。

また、明治時代からあとにヨーロッパやアメリカから日本に入ってきた芝草のことを「西洋芝」と言います。冬芝のグループの芝草は「西洋芝」です。夏芝のグループの芝草にも「西洋芝」があり、バミューダグラス、セントオーガステイングラスなどがそうです。

だい しょう 第2章

しばふ こうてい 芝生の校庭ができるまで

しばふ こうてい がた
～芝生の校庭のつくり方～

しばふ こうてい
芝生の校庭をつくるにはどんなことをすればよいのでしょうか

か？どれくらいの時間がかかるのでしょうか？しばふ こうてい
芝生の校庭が

できるまでには、いろいろな作業があります。その作業を

じゃんぼん
順番にしっかりやっていると、よいしばふ こうてい
芝生の校庭ができます。

では、どんな作業があるのかじゃんぼん み
順番に見ていきましょう！

◆ この章の内容は、『21世紀校庭緑化研究会』(<http://www.koutei.jp/>)の許可のもと、21世紀校庭緑化研究会ホームページ内サイト『芝生キッズクラブ』(<http://www.koutei.jp/kids/>)の内容をベースに、芝生スクール京都での事例を書き加えた形で編集しています。

第2章 芝生の校庭ができるまで

芝生の校庭ができるまでには、つぎのような手順があります。

1. 芝生をつくる場所を調べる



2. 排水せつびをつくる



3. 土をよくする



4. 芝生を植えつける



5. じょうぶな芝生に育てる

では、それぞれの手順でどういうことをするのか、くわしく紹介していきます。

1. 芝生をつくる場所を調べる

最初に、芝生をつくる場所が、芝生がよく育つ場所かどうか調べます。

どんなことを調べるの？

芝生をつくる場所の日当たりや風通しがよいかどうか、一年の天気（温度、湿度）、そして今ある土が芝生を植えるのによい土かどうかなどを調べます。

なぜ日当たりや風通しがよくないといけないの？

芝生を植えるのによい場所の条件は、

1. 日当たりがよい
2. 風通しがよい

ということです。芝生は植物ですから、元気に育つには太陽の光が必要です。だから日当たりはよくなければなりません。また、風通しが悪くジメジメした場所では病気にかかりやすくなりますから、風通しがよいことが大切です。

どんな土に植えるのがいいの？

芝生を植える土は、芝草が元気に育つ土でなければなりません。では、芝草が元気に育つ土とはどんな土だとよいのでしょうか。

第2章 芝生の校庭ができるまで

それは、

1. 水や空気を通すすきまがある
2. 水や肥料がなくなりにくい
3. 根が伸びることができるくらいやわらかい

というような土です。

ここまでは、ほかの花や草、野菜などと同じです。

1と2は、正反対のことを言っているようですが、両方の特ちょうをほどよく持っていることが大切です。水がよく通りすぎると、土の中に水がたまらないので、根は水を吸えません。逆に、あまりに水が通りぬけにくい（水はけが悪く）と、土の中が水でいっぱいになって空気が通るすきまがなくなり、根が呼吸できなくなったり、くさったりしてしまいます。

土の中の大きなすきまに入った水は、土の中をすぐに通りぬけてしまい土の中に残りませんが、小さなすきまに入った水は土の中に残るので、根はその水を吸えます。ただし、土の中が水でいっぱいにならないように大きなすきまも必要です。つまり、いろいろな大きさのすきまが必要なのです。

芝生の特ちょうは、芝生の上に人が乗ることです。それに負けずに芝生が元気であるためにとても大切な土の条件がほかにもあります。

それは、

4. 人が乗ってもすきまがなくなる
5. 人が乗ってもかたくなる

という土であることです。

これだけの条件をみたさないと、芝生は元気に育つことができません。

第2章 芝生の校庭ができるまで

土の条件で、芝生の根の伸び方はかわってきます。根が深くまで伸びたほうがじょうぶな芝生になります。

◆ 良い土と悪い土での根の伸びのちがい

【写真出典1】



良い土では、根が深くまでよく伸びています。



悪い土では、根が浅くまでしか伸びていません。

土の深さはどれくらい必要なの？

では、条件をみたした土の深さは、どのくらいがよいのでしょうか？

あまり浅いと、元気に伸びることができないので、最低でも15センチメートルくらいは必要といわれています。（理想は30センチメートル）

はいすい 2. 排水せつびをつくる

排水(はいすい)って何？

雨がふったあと、芝生を植える土にいつまでも水がたまっていると、芝生は呼吸ができなくなります。そのために、すぐに土から水を抜かなければなりません。このように、水を抜くことを排水（はいすい）といいます。

芝生を植える土の水はけが悪い場合には、排水するせつびをつくる必要があります。水はけがよい場合にはつくる必要はありません。

はいすい ほうほう 排水の方法

土から水を早く抜くために、土の中に水の通り道をつくります。植木ばちの底の穴と同じです。土の下にみぞをほり、みぞの中に穴のあいたパイプをいれ、まわりを小石でうめたものがよく使われます。細いみぞをたくさんほり、みぞの中に砂や小石をつめたものも使われます。

はいすい ◆ 排水のしくみ



水の通り道となるパイプです。土にしみこんだ水をパイプを通して外に出します。



機械でみぞをほってパイプをうめます。

3. つち 土をよくする

もし芝生が育つのによくない土だったら

芝生を植える前に土を調べて、芝生が育つのにあまりよくない土だとわかったときは、土をよくしなければなりません。

土をよくする方法にもいくつかやり方があり、組み合わせでおこなうときもあります。

◆ つち い 土を入れかえる

今ある土をほり出し、新しく芝生が元気に育つ土を運び入れて、土を入れかえる方法です。大きな機械やたくさんのトラックが必要で、ほった土を持ってゆく場所も必要です。

◆ つち い 土の入れかえのようす



もともとの校庭の土をすき取ります。

◆ つち 土をよくするものをまぜる

今ある土に、水や空気の通りやすいもの《土壤改良材（どじょうかいりょうざい）と言います》をまぜ、芝生が元気に育つ土にする方法です。トラクターなどで、土にまぜます。

◆ どじょうかいりょうざい 土壤改良材をまぜるようす



土壤改良材（どじょうかいりょうざい）をまぜた砂（黒い部分）をまぜます。

第2章 芝生の校庭ができるまで

◆ 排水のせつびをつくる

土はよくても、水がよく通らないと、水ははやく抜けません。今ある土がよいときは、排水せつびをつくるだけで、芝生によい土になることもあります。

つち し あ 土の仕上げ

芝生を植えるためには、表面が平らになっていることが大切です。でこぼこがあると、水の抜け方がまちまちになるので、芝生の伸び方がそろわなくなります。そうすると、伸び方のおそいところは、いたみやすくなります。

もう一つ大切なのは、水がたまらないよう、グラウンドの真ん中を高くして、まわりを低くすることです。目で見てもわからないくらいですが、ちょうどカメのこうらのような形に土を仕上げます。土の中が水でいっぱいになると芝生は根から空気を吸えなくなったり、根がくさってしまったりしてしまいます。だから、土を少しかたむけておけば、大雨がふったときには水が外にすばやく流れていって、土にしみこむ水の量をへらすことができます。

◆ 土の仕上げのようす



ローラーで土をおさえつけてしっかりさせます。

◆ 排水せつびをつくっているようす



機械でみぞをほり、パイプをうめて排水せつびをつくります。

さいごにローラーで土をおさえつけて、ちょうどいい土のかたさに仕上げます。土の中に、あまり大きなすきまがあると、うまく芝生は育ちません。また、土がやわらかすぎると、芝生を植えるときに、足がうまって穴があいたり、でこぼこがひどくなったりするからです。

4. 芝生を植えつける

芝生が元気に育つ土にしたあとは、いよいよ芝生を植えます。
芝生をつくる方法もいくつかやり方があります。

タネをまいてつくる方法

芝草のタネをまいて芝生をつくります。

いろいろな種類の芝草をまぜた芝生をつくることができます。タネまきは、ほかの方法より楽にできます。

◆ 芝草のタネ

芝草のタネは米や麦より小さいタネです。ほとんどの種類が、アメリカで作られており、袋に入れて運ばれます。ただし、ほとんどタネができない種類の芝草もあります。

◆ 芝草のタネ



これが芝草のタネです。小さくて細長いかたちをしています。

◆ タネをまく時期

タネをまく芝草がいちばん元気の良いようになる気候のときにタネをまきます。タネをまいてから、芝生になるまでの期間（2～3ヶ月）、元気に伸びなければなりません。

暑いのが好きで寒さには弱い芝草（夏芝）の場合は5月～6月ぐらいです。これ以上おそくなると、じょうぶな芝生になる前に秋になり寒くなってしまうので、元気がなくなり、じょうぶな芝生になりません。

第2章 芝生の校庭ができるまで

暑^{あつ}さは苦^{にが}手で涼^{すず}しいのが好^すきな芝^{しば}草^{くさ}（冬^{ふゆ}芝^{しば}）の場合^{ばあい}は、3月^{がつ}～5月^{がつ}と9月^{がつ}～10月^{がつ}です。3月^{がつ}～5月^{がつ}にま^はくとき（春^{はる}ま^き）は、すぐ^{ふゆ}に冬^{ふゆ}芝^{しば}が苦^{にが}手^{なつ}な夏^きが来^きてしまうので気^きをつ^{つけ}な^なけ^けれ^れば^ばい^いけ^けま^ませ^せん。

◆ タネのまきかた

芝^{しば}生^ふをつ^{つく}る^{ところ}に、かた^{より}が^{ない}よう、ま^んべ^んな^くま^きま^す。タ^たネ^が多^{おほ}い^{ところ}と少^{すく}ない^{ところ}が^{でき}ると、芝^{しば}生^ふがた^くさ^ん生^はえ^ると^{ころ}と、少^{すこ}し^{しか}生^はえ^{ない}と^{ころ}が^{でき}て^{しま}い^ます。

タ^たネ^まき^{よう}の道^{どう}具^ぐをつ^{つか}うと、^{かんたん}簡^{かん}単^{たん}に^{きれい}に^まく^{こと}が^{でき}ま^す。

タ^たネ^をま^く量^{りよう}は、種^{しゆ}類^{るい}や季^き節^{せつ}によ^よつて^{かわ}り^ます。多^{おほ}すぎ^{ると}、1本^{ほん}1本^{ほん}の伸^のび^ると^{ころ}が^なく^なり、き^{ゆう}う^くつ^つすぎ^て元^{げん}気^きが^なく^なり^ます。少^{すく}な^{すぎ}ると、芝^{しば}生^ふとし^て弱^{よわ}く^なる^{ので}、い^たみ^{やす}く^なり^ます。

タ^たネ^をま^いた^{あと}、芽^めを出^だした芝^{しば}草^{くさ}に水^{みず}や肥^ひ料^{りよう}を^あげ^{たり}、芝^{しば}刈^かり^をし^{たり}して、じ^{ょう}ぶ^な芝^{しば}生^ふに^なる^まで^{そだ}て^ます。タ^たネ^をま^いて^{から}、芝^{しば}生^ふに^なる^まで^は時^じ間^{かん}（2～3ヶ^{かげ}月^{げつ}）が^かか^り、ま^た、タ^たネ^をま^く季^き節^{せつ}も^かぎ^{られ}ま^す。で^も、時^じ間^{かん}を^かけ^{ると}し^っか^りと^ねを^は張^はり、じ^{ょう}ぶ^な芝^{しば}生^ふに^なり^ます。

芝^{しば}生^ふを張^はっ^てつ^くる^{ほう}法^{ほう}

あ^らか^じめ芝^{しば}生^ふの畑^{はたけ}で^{そだ}て^ていた芝^{しば}生^ふを^{ちい}さ^く切^きっ^てな^らべ^てつ^くり^ます。張^はる^{だけ}で^{いちめん}一^い面^{めん}が^{みどり}緑^{ろく}に^なり、芝^{しば}生^ふとし^てつか^える^{よう}に^なる^までの時^じ間^{かん}も^{はや}早^{はや}い^です。

◆ タネまきのようす



タ^たネ^まき^き機^きの中^{なか}に入^いれたタ^たネ^をお^とし^{なが}ら^まい^てい^ます。

第2章 芝生の校庭ができるまで

ただし、芝生についている土がぶあつかったり、ねんどのような土だったりすると、根があまり伸びなかったり、水が通りにくくなってしまうたりするので気をつけなければなりません。

◆ 芝生を張っているようす



これが張りつける小さく切った芝生です



小さく切った芝生を一枚一枚ならべて張りつけます。

◆ 芝生を張る時期

真夏や真冬以外であれば、いつでも芝生を張ることはできますが、3月から4月に張るのが一番よいです。それ以外の時に張る場合は、かんそうしないように水やりをしなければなりません。

芝生から根が出て、人が乗っても動かないようになれば、使うことができます。芝草が元気に生長する時期なら、1～2ヶ月で使える芝生になります。

◆ 根が出るようす

【写真出典1】



芝生を張ったあと、こんなふうにとんどん根が出て、芝生が土にくっついていきます。

第2章 芝生の校庭ができるまで

なえ う ほうほう 苗を植えてつくる方法

よこ の ちから つよ しばくさ
横に伸びる力の強い芝草は、ほぐ
した苗を植えてつけることによって、
しばふ
芝生をつくることができます。ばらば
らにほぐした芝生や、芝草の苗を植えて
つくりします。タネをつくらない種類
の芝草で、夏芝に向いた方法です。

◆ しばふ なえ 【写真出典2】



しばふ なえ
ほぐした芝生の苗です。

なえ う じ き ◆ 苗を植えてつける時期

う しばくさ げんき きこう う
植えてつける芝草がいちばん元気よくなる気候のときに植つけます。植えて
からしばふ 期間（2～3ヶ月）、元気に伸びなければなりません。

あつ す さむ よわ しばくさ なつしば ばあい がつ がつ う
暑いのが好きで寒さには弱い芝草（夏芝）の場合は、5月～6月ぐらいに植
つけをします。これ以上おそくなると、じょうぶなしばふ 前に秋になり寒く
なってしまうので、元気がなくなり、じょうぶな芝生になりません。

なえ う かた ◆ 苗の植えつけ方

じめん ふか
地面に深さ5センチメートルぐ
らいのみぞをほり、そのなか なえ う
の中に苗を植
えつけます。みぞとみぞの あいだ ひろ
間が広
ければ、それだけ芝生になるまで
じかん がかかります。ほぐしたしばふ
は、
ぜんぶ土の中にうまってしまおうと
か 枯れてしまうので、くきの いちぶ
一部が、
かならず つち なか で う
土から出るように植えつ
けます。

◆ う 植えつけのようす 【写真出典3】



しばふ なえ う
芝生の苗を植えつけているようすです。

第2章 芝生の校庭ができるまで

ほかに、みぞをほらずに、ほぐした芝生の苗を地面の上にまんべんなくまいて、
上から砂をかぶせるやり方もあります。

芝草の苗を植えたあと、水や肥料をあげたり、芝刈りをしたりして、じ
ょうぶな芝生になるまで育てます。じょうぶな芝生になるまでは時間（2～3
ヶ月）がかかり、また、植える季節も限られます。でも、しっかりと根を張
り、じょうぶな芝生になります。

5. じょうぶな芝生に育てる

芝生になるまでの期間

どのような方法で芝生をつくったとしても、すぐに芝生として使えるわけではありません。タネをまいたり、苗を植えた場合は、芽や根が出るまでは水をまいて乾そうしないように気をつけます。

種類や季節によってちがいますが、タネから芽が出るまで1週間から3週間くらい、苗から根が出るまで2週間から1ヶ月くらいかかります。芝生を張った場合は、その芝草が元気に生長する季節であれば、1週間もすると根が出て、張った芝生が動かなくなります。

寒い季節に芝生をつくるときには、太陽の光を通すシートをかけてあたたかくしてあげると、はやく生長します。

◆ 芽が出たばかりの芝生



タネまき後、芽が出たばかりの芝生です。

◆ 芝生をシートであたためて育てるようす

【写真出典1】



シートをかける前はあまり緑ではありませんね。



あたたかいシートの中で芝生が生長します。



シートをとると芝生が生長して緑がこなくなっています。

第2章 芝生の校庭ができるまで

つか 使いはじめるまでの手入れ

肥料をまき、水をまき、伸びたら芝刈りをします。それをくり返すと、だんだん葉やくきの数が多くなってきます。苗を植えた場合は、くきがどんどん横に伸びて、すき間がうまっていきます。タネや苗の場合で2～3ヶ月、芝生を張った場合は1ヶ月くらい、しっかり手入れをすれば、じょうぶな芝生になります。

◆ 芝生の手入れのようす



水をあげるときはたっぷりとあげます。



肥料をまく道具で肥料をまいていところす。



芝刈りもしてじょうぶな芝生

このときの手入れが十分でないと、じょうぶな芝生にならないので、使いはじめたあと、いたみやすい芝生になってしまいます。

しっかり手入れしてじょうぶな芝生ができあがったら、使いはじめることができます。

◆ 手入れ前と手入れ後の芝生のちがい



手入れ前はまだ芝生が生えていないところもたくさんあります。



手入れをして、しっかり育てると一面にじょうぶな芝生が生えそろいました。

だい しょう 第3章

しばふ たの かた 芝生の楽しみ方

しばふ うえ あそ たの
～芝生の上でおもいきり遊ぼう！楽しもう！～

しばふ こうてい かんせい
芝生の校庭が完成したら、いよいよ芝生の上で遊ぶことがで

きます！そこで、しばふ
芝生にはどんなよいところがあって、どんな

あそ かた たの かた しょうかい おも
遊び方、楽しみ方ができるのか、紹介したいと思います。

あそ かた たの かた み しばふ うえ たの あそ
いろいろな遊び方、楽しみ方を見つけて芝生の上で楽しく遊

んでくださいね！

はじめに

これから芝生でたくさん思いっきり遊んでもらうために、芝生のよいところ、芝生の楽しみ方を紹介したいと思います。

ここで紹介する写真はすでに校庭が芝生になっている学校でのようすです。みなさんもこれからこんなふうに楽しく、たくさん遊んでください！

ふかふかやわらかい！転んでも痛くない！

芝生の上はふかふかとやわらかいので転んだりしてもあまり痛くありません。それに、転んでもけがをすることも少ないし、服がどろどろになることもありません。だから、そういうことを気にせず思いっきり走ったりこけたりできます。はだしで走っても楽しいし、ゴロゴロねころんだりもできます！

◆ ふかふかやわらかい、転んでも痛くないから・・・



転ぶくらい思いっきり走れる！



ねころんでもきもちいい！



はだしで遊ぶのもたのしい！



ボールからおちてもだいじょうぶ！

ひんやりすずしい！

芝生の上は、夏の暑いときには土の上より $10^{\circ}\text{C}\sim 15^{\circ}\text{C}$ くらい温度が低いのでひんやりしてすずしく、ねころんだらとっても気持ちがいいです。

下の写真は夏に芝生の上の温度と土の上の温度のちがいを調べたときの写真です。

赤色ところが温度が高いところ（ 50°C くらい）で、緑色のところが温度が低いところ（ $35\sim 40^{\circ}\text{C}$ ）です。

◆ ひんやりすずしい芝生！



ひんやりとしてきもちいい～！

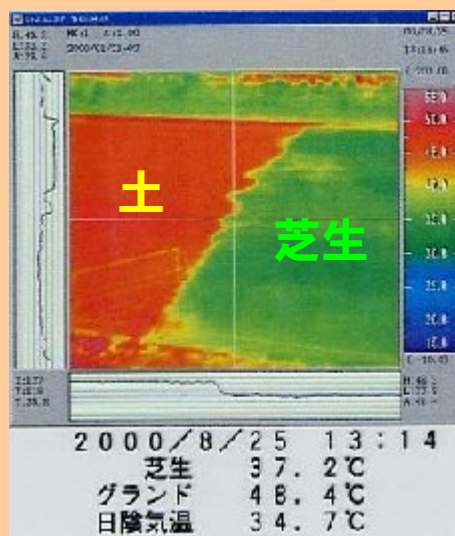
芝生のところは緑色になっていますね。芝生の上のほうが土の上より 10°C 以上温度が低くなっています。芝生の上がすずしいことがよくわかりますね。

◆ 温度調査の結果

【写真出典2】



写真上：温度を測ったグラウンド
写真右：温度を測った結果（サーモグラフィー）



第3章 芝生の楽しみ方

すな 砂ぼこりがたたない！

つち
土のときとちがってすな
砂ぼこりがたたないので、てんき
天気の良い日にしばふ
芝生の上でお
べんとう きゅうしょく
弁当や給食を食べることもできます。

◆ しばふ うえ 芝生の上でのお弁当・給食のようす



さ が の しょうがっこう
嵯峨野小学校のみんなです。運動会のと
しばふ うえ
き、芝生の上でお弁当を食べました。



よこおおじしょうがっこう
横大路小学校のみんなです。芝生の上で
きゅうしょく
給食を食べているところです。とても
たの
楽しそうですね。

また、がっき
楽器にすな
砂が入ったりもしないので、しばふ
芝生の上でおんがく
音楽の演奏会をやって
もだいじょうぶです。また、しばふ
芝生の上でねころびながらみんなでえいが
映画を見たり
たの
しても楽しいでしょう。

◆ しばふ うえ 芝生の上での演奏会のようす



さ が の しょうがっこう
嵯峨野小学校では立命館大学のお兄さん、お
ねえ
姉さんたちがしばふ
芝生の上でえんそうかい
演奏会を開いてくれ
ました。

ほかにも楽しいことがたくさん！

◆ 芝生の上でお茶会

横大路小学校では地域の
大人の人が芝生の上でお茶会
をひらきました。
芝生の緑は目にやさしい
し、見てみると心が落ち着き
ます。そういう芝生の上でゆ
ったりとした気持ちになって、
お茶を楽しんだりするのも
芝生の楽しみ方のひとつかも
しれません！

◆ 横大路小学校でのお茶会のようす



芝生の上でお茶会をひらいて、地域の大人の
人も芝生を楽しんでいます。

◆ 京都サンガが来てくれた！

嵯峨野小学校と横大路小学校にはJリーグの京都サンガの選手のみなさん
が来てくれて、サッカー教室をひらいてくれました！芝生の上でスポーツをす
る楽しさを嵯峨野小学校と横大路小学校のみんなに教えてくれました！

◆ 来てくれた京都サンガのみなさん



嵯峨野小学校に来てくれた京都サンガ
のみなさんです。



横大路小学校に来てくれた京都サンガ
のみなさんです。

第3章 芝生の楽しみ方

しばふ うえ 芝生の上ならこけるのも怖くないから思いっきりプレイできます！ 思いっきりプレイできると楽しいし、早く上手になります！

◆ サッカー教室のようす



しばふ うえ おも
芝生の上で思いっきりシュート！



こけてもいた おも
こけても痛くないから思いっきりプレイ
できます！

というわけで、他の学校のようすを紹介しながら、しばふ たの 楽しい 芝生の楽しみ方を少し紹介しました。

どうでしたか？ しばふ 芝生でどんなことができるんだろう、しばふ 芝生でどんなことをやったら楽しいんだろうということがたくさんわいてきましたか？

みなさんでいろんなアイデアを出し合えば、もっともっとしばふ たの ほうほう 芝生を楽しむ方法や遊び方を見つけることができますと思います。ぜひ自分たちの楽しい 楽しい 遊び方を見つけて楽しく遊んでくださいね！

《しばふのちしき①》・・・^{しばふ}芝生を^{ながも}長持ちさせる^{つか}使い方^{かた}

^{しばふ}芝生も毎日^{まいにち}同じところばかり使っていると、その場所の芝生は必ず^{はげ}はげていっ
てしまいます。下の写真は、そんなふうにはげてしまった芝生です。土が見えて
しまうくらいはげてしまうと、なかなか^{もと}元のような芝生にもどりません。



^{しばふ}
はげてしまった芝生

だから、たとえば^{たいいく}体育の^{じゅぎょう}授業などで、
使う場所を日によって変えたり、野球や
サッカーなどの場合は、ホームベースや
ゴールの場所を変えるなどして、できる
だけ同じ場所ばかり使わないような工夫
をしてあげてください。そうすれば芝生
もはげにくくなりますし、芝生を長持ち
させることができます。

《しばふのちしき②》・・・^{しばふ}芝生の^{うへ}上に^ひラインを^{ほうほう}引く方法

ラインを引くときに^{せっかい}石灰を使う場合、芝生の種類や土の性質によっては芝生が
枯れてしまうことがあります。石灰を使う場合は、芝生が枯れないかどうかため
して見て、枯れるようだったらなるべく使わないようにしてください。

石灰を使う方法のほかにも、ロープや小さなコーンを使ってラインをつくる
方法もあります。どこにでもかんたんにラインがつくれて、ロープやコーンをか
たづければ芝生の上にもラインのあとが残らないので、芝生の上ではこれらの
方法も便利です。ぜひ、ためしてみてくださいね！



^{つか}
ロープを使って引いたライン



^{つか}
コーンを使ってつくったライン

だい しょう 第4章

しばふ そだ かた 芝生の育て方

しばふ げんき そだ
～芝生が元気に育つためにしてあげること～

しばふ こうてい たの あそ げんき しば
芝生の校庭でずっと楽しく遊ぶためには、じょうぶで元気な芝
ふ そだ たいせつ しばふ たの あそ
生に育ててあげることが大切です。芝生もみなさんが楽しく遊
べるように、がんばって生きています。ここでは、しばふがずっ
と元気であるために、どんなことをしてあげればよいか、紹介
したいとおもいます。

はじめに

しばふ うえ おも あそ たの しばふ
芝生の上で思いっきり遊んだり、楽しいことをするためには、芝生がずっと
げんき
元気でいてくれないとできません。

しばふ かい は しばふ
芝生は1回生えたらずっとそのまま生えつづけるわけではありません。芝生
も植物で「生き物」なので、よわ かわ な
弱ったり、枯れたりして無くなっていきます。
でも、そのかわりにまた あたら め で の は で あたら
新しい芽が出て、くきが伸びて、葉が出て、新し
いしばふ しばふ つづ
芝生になり、それをくりかえすことで芝生がずっと続いていきます。

しばふ げんき たの あそ ばしよ
芝生はそうやって、みなさんに元気に楽しく遊べる場所をあたえてくれます。
でも、しばふ げんき あたら め は だ
芝生も元気でないと新しい芽や葉を出すことができなくなってしまいま
す。だから、しばふ げんき しばふ
芝生がずっと元気でいてくれるように、芝生のことをよく知って、
げんき しばふ そだ てだす
元気でじょうぶな芝生に育つための手助けをしてあげてください。

では、げんき しばふ そだ
元気でじょうぶな芝生に育つためにどんなこととしてあげればよいのか
しょうかい おも
紹介したいと思います。

しばか 1. 芝刈り

しばふ か なぜ芝生を刈るの？

「芝刈り」は名前のおとおり、芝生を刈ることです。では、なぜ芝生を刈るのでしょうか？

ひとつは、芝生が長すぎると草むらのようになって思いきり走ったりできないですし、はだしで遊んだりするときや、ねころんだりしたときにも気持ちよくないですね。

だから、まず楽しく遊ぶために芝生を短くしてやります。サッカー場や野球場の芝生も短いんですね。それと同じことです。

◆ しばふ みじか 芝生が短いから・・・



しばふ みじか はし
芝生が短いから、走りやすいし、はだし
になっても気持ちいい！



しばふ みじか
芝生が短いから、ねころんだときにも
気持ちいい！

もうひとつは、走ったり遊んだりしてたくさん使ってもだいじょうぶな、じょうぶな芝生にするためです。

芝生は長くなってしまうと、根元のほうに太陽の光が当たらなくなってしまう、弱くなってしまう。芝生を短くしておけば、芝生の葉全体に太陽の光があたるので元気に生長します。

第4章 芝生の育て方

◆ 太陽の光が当たることが大切！



ほうっておくとこんなふうにとんどん^の伸びて長くなってしまい。根元のところまで^{ひかり}光が当たらなくなってしまいます。



芝刈りをしたあとの芝生です。短くなって根元のところまで^{ひかり}光が当たるようになりました！

また、芝生は上に向かって伸びる性質と横に向かって伸びる性質があります。

芝刈りをして短くしておくと、芝生は上だけではなく横に向かって伸びようとしします。そうすると、くきや葉がぎっしりとつまっていき、じょうぶで強い芝生になります。ぎっしりつまった芝生はたくさん遊んでもへこたれません。

そういうじょうぶで強い芝生にするために芝刈りをします。

◆ 芝刈りしなかった芝生と、芝刈りした芝生のちがい



芝刈りしないでおくと、こんなふう^{うえ}に上の方に向かってとんどん伸びていきますが、じょうぶな芝生にはなりません。



芝刈りをする^{よこ}と、こんなふう^{よこ}に横にとんどん伸びて、ぎっしりつまったじょうぶな芝生になります。

どうやって芝生を刈るの？

芝刈りには「芝刈り機」を使います。

芝刈り機には手で押して刈る手押し式の芝刈り機、エンジンが付いてエンジンの力で走って刈ってくれる自走式（自分で走る）芝刈り機、トラクターのように運転席に乗って動かして芝生を刈る乗用型の大きな芝刈り機などいろいろな種類があります。

◆ 手押し式芝刈り機

あまり広くないところや、大きな芝刈り機では刈るのがむづかしいせまいところでは手押し式の芝刈り機が便利です。

◆ 手押し式芝刈り機



手押し式の芝刈り機です。小さくて軽いので、あつかいやすく、小回りがきいて、せまい場所や、はじっこ、すみっこなどの場所の芝刈りに便利です。また、だれもが使いやすいところもよいところです。

小さくて軽いので、子どもから大人まで、だれにでもあつかいやすく、はじっこやすみっこ、遊具（鉄棒やジャングルジムなど）のまわりなどでも自由自在に芝生を刈ることができます。

子どもたちが芝刈りをするにはこれがいちばんよいでしょう。

あまり広くないところなら手押し式の芝刈り機だけでも十分に芝刈りをすることができます。

ただ、1回に刈れる量が少ないので、広いところになると手押し式の芝刈り機だけでは時間も体力もかかって大変です。

第4章 芝生の育て方

◆ 自走式芝刈り機 / 乗用型芝刈り機

広いところでは、自走式芝刈り機や乗用型芝刈り機が便利です。

◆ 自走式芝刈り機



エンジンを動かせば、自分で走って芝生を刈ってくれます。刈るスピードや刈る方向を変えるのは刈る人がやります。

刈るスピードが速く、1回に刈る量も多いので広いところでも短い時間で芝刈りをすることができます。

また、刈る人が自分の力で押して刈らなくても、エンジンの力で芝刈り機を動かして、走って刈ってくれるので体力もあまり使わなくて済みます。

刈る人は、刈るスピードや刈る方向を変えながら芝刈りをします。

◆ 乗用型芝刈り機



芝刈り機に乗って、車のように運転して芝刈りをします。サッカー場や野球場のような広い場所でよく使われます。

自走式芝刈り機は、手押し式芝刈り機より大きいですが、それでも小型なので、小回りがきいて、手押し式芝刈り機ほどではないですが、せまいところでも芝刈りをすることができます。

ただ、手押し式芝刈り機よりかなり重たく、刃がエンジンの力で高速で回転し、あつかいもむつかしいので、子どもが使うには危険ですから、大人が使うようにしましょう。

第4章 芝生の育て方

乗用型芝刈り機は、芝刈り機に乗って車のように運転して芝刈りをします。芝刈りするスピードも力も、1回に刈る量の多さもちょうど、広いところでも自走式芝刈り機よりも短い時間で芝刈りを行うことができます。

ただし、車が運転できる人でないとあつかうのがむづかしいことと、車のように重く、力もあり、その分、危険も高いので、大人でないと使うことはできません。

◆ 芝刈りのようす



横大路小学校で、子どもたちとPTAのお母さんたちが芝刈りしているようすです。手押し式芝刈り機なら、こんなふうに小さい子どもでも芝刈りを行うことができます！



自走式芝刈り機で芝刈りをしているようすです。勝手に走って刈ってくれるのでらくちんですが、あつかいになれるまで練習も必要です。



乗用型芝刈り機で芝刈りしているようすです。せまいところは苦手ですが、広いところを刈る速さはいちばんです。大きいので、置いておける場所があることも大切です。

第4章 芝生の育て方

どれくらい伸びたら刈ればいいのか？

芝生はほうっておくと上にどんどん伸びていきます。

芝生には葉っぱが生えてくるいちばん根元のところがあり、そこを「生長点」といいます。芝生がどんどん伸びて高くなっていくと、その生長点の位置もどんどん高くなっていきます。

◆ 生長点

【写真出典1】



矢印のところが生長点です。芝生が短いと生長点の位置もひくいところになります。



芝生が伸びていくと、それにあわせて生長点の位置も高くなっていきます。左の写真とくらべて生長点の位置（矢印のところ）が高くなっているのがわかります。

芝生が伸びて高くなってしまってから芝生を刈ると、葉っぱが生えてくる根元のところである生長点も刈ってしまうことになり、そうすると芝生は葉っぱを出すことができなくなってしまいます。

そうすると、くきだけの芝生になってしまい、とても弱くなり、色も茶色になってしまいます。

(※こういう状態になってしまう刈り方を「じく刈り」といいます。)

第4章 芝生の育て方

◆ 芝生が伸びすぎたから芝刈りしたあと（じく刈りのようす）

【写真出典4】



こんなふう、くきばかりの芝生になってしまいます。



芝生の色も茶色くなってしまいます。

芝生を刈るときは、すごく伸びてから刈るのではなく、少し伸びてきたというくらいで刈るようにしてください。

また、芝生も生きているので、あまり一気に短くしてしまうとビックリして弱ってしまいます。刈る前の芝生の長さの3分の2くらいは残して刈ってあげるようにしてください。

芝刈りの回数は、芝生の種類によりちがいはありますが、夏によく伸びる夏芝の場合なら、よく伸びる時期（6月～9月）では毎週1回くらい、あまり伸びない時期（4月～5月、10月～11月）では月1～2回くらい芝刈りをします。ほとんど伸びない冬（12月～3月）は無しでいいでしょう。

ただし、芝生を使っていると自然に葉がちぎれたり、切れたりするので、芝刈りをしなくてはならないほど芝生が伸びないこともあります。そういう場合は、芝刈りをする必要はありません。

どれくらいの高さに刈ればいいのか？

あまり短^{みじか}いとフカフカしませんし、また、芝生^{しばふ}を使うと葉^はがちぎれたり、切^きれたりしますが、芝生^{しばふ}が短^{みじか}いと葉^はがちぎれたらすぐ下の土^{つち}があらわれてしまい、そうになってしまうと、その部分は芝生^{しばふ}がなかなか生^はえてこなくなります。だから、あまり短^{みじか}く（2センチメートルより短^{みじか}いくらい）するのはよくありません。

逆^{ぎやく}に、長^{なが}く（6～7センチメートルより長^{なが}いくらい）すると、足^{あし}にからまって遊^{あそ}びにくくなりますし、長^{なが}すぎると芝生^{しばふ}がじょうぶになりません。

芝生^{しばふ}の高^{たか}さは、遊^{あそ}びやすく、芝生^{しばふ}もじょうぶになる3～4センチメートルくらいの高^{たか}さに刈^かってやるのが良^よいでしょう。

刈った葉っぱはどうすればいいのか？

刈^かった葉^はっぱは集^{あつ}めて、芝生^{しばふ}の外^{そと}に運^{はこ}び出^だします。

刈^かった葉^はっぱは、そのまま芝生^{しばふ}の上^{うへ}に置^おいておくと、枯^かれて、時^じ間^{かん}をかけて自然^{しぜん}に肥料^{ひりょう}になってゆくものですが、刈^かった葉^はっぱの量^{りょう}が多^{おほ}いと、そのまま芝生^{しばふ}の上^{うへ}に置^おいておくと肥料^{ひりょう}になっていない葉^はっぱがどんどんたまって、その上^{うへ}で芝生^{しばふ}を使うと、葉^はっぱが足^{あし}でふまれて固^{かた}まってしまい、土^{つち}や芝生^{しばふ}の根^ねに水^{みず}や、空^{くう}気^きや、肥料^{ひりょう}が届^{とど}きにくくなってしまいます。

刈^かった葉^はっぱの量^{りょう}が少^{すく}ない場合^{ばあい}や、芝生^{しばふ}の広^{ひろ}さがすごく広^{ひろ}い場合には、刈^かった葉^はっぱをそのまま置^おいておいても、固^{かた}まることもなく、逆^{ぎやく}によいクッションになったりもするのですが、学校^{がっこう}の校庭^{こうてい}のようにたくさんの人^{ひと}がよく遊^{あそ}ぶ場所^{ばしょ}では、集^{あつ}めて芝生^{しばふ}の外^{そと}に運^{はこ}び出^だしたほう芝生^{しばふ}にとって良^よいです。

《しばふのちしき③》・・・^{しばふ}芝生が^みしましまに見えるのはなぜ？

サッカー^{じょう}場や野球^{やきゅうじょう}場の芝生^{しばふ}がしましまもようになっているのを見たことがあ^みると思います。なぜ、しましまもようになっているのでしょうか？



^{じょう}サッカー場の芝生^{しばふ}のしましま【写真出典1】

そのわけは・・・、芝刈り機^{しばか き つか}を使って芝生^{しばふ}を刈ると、芝生^{しばふ}の葉っぱ^はが同じ方向^{おな ほうこう}にたおれるので、交互^{こうご}に逆^{ぎやく}の方向^{ほうこう}に向かって刈ると芝生^{しばふ}の葉っぱ^はのたおれる方向^{ほうこう}も交互^{こうご}に逆^{ぎやく}になります。芝生^{しばふ}の葉っぱ^はのたおれる方向^{ほうこう}によって、太陽^{たいよう}の光^{ひかり}が葉っぱ^はに当たったときの光^{あかり}の反射^{はんしゃ}の仕方がちがうので、明るく見^みえるところと、暗く見^みえるところができ、しましまに^み見えるからです。芝生^{しばふ}の葉っぱ^はの色^{いろ}がちがうわけではないのです。

芝生^{しばふ}を刈ると芝生^{しばふ}がしましまに^み見えることを利用^{りよう}して、芝生^{しばふ}に絵^えを描^{えが}くようなこともできます。下の写真^{した}のように、芝刈り^{しばか}で学校^{がっこう}の校章^{こうしょう}を描^{えが}くようなこともできますよ。芝刈り^{しばか}をして、いろいろな絵^えを描^{えが}いてみたりするのも芝生^{しばふ}の楽しみ方^{たの かつ}のひとつかもしれません！



^{しばか}芝刈り^{えが}で描^{こうしょう}いた校章^{よこおおじしょうがっこう}です！（横大路小学校）

2. ^{みず}水やり

^{みず}なぜ水をあげるの？

^{しばふ}芝生も生き物で、^い植物なので、^{しよくぶつ}水がなければ生きていけません。だから、^{みず}水やりは ^{かなら}必ずしてあげます。

ただし、^{あめ}雨が降ったときなどは雨だけで ^{じゆうぶん}十分です。芝生が ^{しばふ}水不足なときに ^{みず}水やりをしてあげます。

^{ひと}人も、^{のど}のどがかわいていないときには ^{みず}水や ^{のみ}飲み物は ^{おも}ほしくないと思います。
^{しばふ}芝生も同じで、^{おな}芝生が「^{みず}水をほしい」と ^{おも}思っているときに ^{みず}水やりをしてあげる ^{たいせつ}ことが大切です。

^{あめ}雨が降らない日が続いたりして、^{しばふ}芝生がかわいてしまったときなどは、^{みず}たっぷり ^{しばふ}水やりをしてあげると芝生は ^{げんき}また元気になります。

◆ ^{みず}水やりのようす



^{みず}ホースで水をまいています。たっぷり ^{みず}水をあげましょう！



^{ひろ}広いところではスプリンクラーがかつ ^{みず}やくします！

どのくらい^{みず}水をあげればいいの？

芝生の種類や、季節によっても水やりをする回数^{かいすう}は変わってきます。あまり水をあげなくてもだいじょうぶな芝生もありますし、ひんぱんに水をほしが^{みず}る芝生もあります。夏芝は水不足^{みずぶそく}にも強いですが、冬芝は水不足^{みずぶそく}には弱い^{よわ}です。ですから、そういうちが^{かんが}いも考^{みず}えて水やりをする必要^{ひつよう}もあります。

雨が多いときなどは雨だけで十分で、そういうときに水やりをすると、水をあげすぎることになってよくありません。

水やりをするときは、葉っぱがぬれるくらいではなく、芝生^{しばふ}の下^{した}の土^{つち}がしっとりするくらいたっぷりと水をまいてあげてください。なぜなら、芝生は土にしみこんだ水を根で吸うからです。

ただし、バケツの水を一気^{いっき}にまきちらすようなまき方はよくありません。水が土にしみこむ前に芝生の表面^{ひょうめん}を流^{なが}れていってしまい、しっかり土にしみこまないからです。

ホースを使う場合には、ホースの口を上^{うへ}に向けて、落^おちてくる水^{みず}で雨^{あめ}を降^ふらすようにまいて、水が土にゆっくりしみこんでいくようにします。

夏の暑いとき^{なつ あつ}に水をまくときは、注意^{ちゅうい}してください。

お昼のとても暑いとき^{ひる あつ}に水をまいても、すぐに水がかわいてしまうのであまり意味がありません。また、水がすぐにお湯のような熱^{あつ}さになり、その熱^{あつ}さで芝生が弱^{よわ}ってしまうからです。

夏の暑いときはなるべく早朝^{そうちょう}や夕方^{ゆうがた}など涼^{すず}しいときに水やりをしてあげてください。

3. ^{ひりょう}肥料まき

^{ひりょう}なぜ肥料をあげるの？

^{しばふ}芝生が^{げんき}元気に^{せいちょう}生長するためには^{えいよう}栄養が^{ひつよう}必要です。その^{えいよう}栄養を^{ひりょう}肥料をまいて^{しばふ}芝生にあたえてあげます。みなさんがごはんを^た食べるのと同じことですね。

^{ひりょう}肥料をあげると^{しばふ}芝生は^はくきや^の葉が^は伸びたり、^{いろ}葉の色が^ここくなったりして、^よりじょうぶな^{しばふ}芝生になります。

また、^{しばふ}芝生を使うと、^{つか}くきや^は葉が^{ちぎ}れたりしますが、そこから^{あた}新しい^{くき}くきや^は葉を^の伸ばして^{かいふく}回復するのもはやくになります。

^{ひりょう}肥料はどうやってまくの？

^{ひりょう}肥料は^むむらなく^ままかないといけません。^{いっかしよ}一ヶ所にたくさんまいたりすると、^{ぎやく}逆に^{しばふ}芝生が^か枯れてしまったりします。

また、^むむらにまいてしまうと、^{しばふ}芝生が^{よく}よく伸びるところと^{あまり}あまり^の伸びないところ^ができてしまいます。だから、^むむらなく^ままけるように^{ひりょう}肥料を^{まく}まく^{どうぐ}道具を^{つか}使います。

^{ひりょう}肥料を^{まく}まく^{どうぐ}道具にも^{いろ}いろいろ^{しゅるい}種類がありますが、ここでは「サイクロン式^{しきひりょう}肥料まき機」といわれる^{どうぐ}道具を^{しょうかい}紹介します。

^{ひりょう}肥料を^い入れるかごが^つ付いていて、そのかごの^{した}下に^{ぶん}せん風機^ののはね^ののようなものが^つ付いています。かごに^{ひりょう}肥料を^い入れて、^て手で^お押して^{はし}走らせると、^{かいてん}はねが^{かいてん}回転して、かごの^{した}下^のについている^{あな}穴から^お落ちてきた^{ひりょう}肥料を^{まわり}まわりに^と飛ばし、^むむらなく^{ひりょう}肥料を^{まく}まくことができます。

第4章 芝生の育て方

肥料をまき終わったら、水をまいて肥料をとかしてやります。そうすることで肥料がゆっくりと土の中にしみこんでいき、芝生が根から肥料の栄養をとることができます。

◆ 肥料まき



これが肥料です。こんなつぶつぶした形をしています。



これがサイクロン式肥料まき機です。かごに肥料を入れているところです。



サイクロン式肥料まき機を走らせて、肥料をまいているところです。

肥料は何回くらいまけばいいの？

肥料は、芝生がよく伸びる時期なら月に2～3回、あまり伸びない時期なら月に1回くらいまきます。夏芝のように、冬に枯れて、まったく伸びなくなるような時期には肥料をまく必要はありません。

第4章 芝生の育て方

ひりょう しばか かんけい 肥料まきと芝刈りの関係

しばふのなにひつよう
芝生が伸びると何をする必要がありますか？そうです、「芝刈り」ですね。
しばか
芝刈りをすると葉やくきがぎっしりつまったじょうぶなしばふになると説明しました。しばか
芝刈りするためには、まずしばふの伸びなければなりません。

ひりょう しばふ
そのためにも肥料をまいて芝生を伸ばし、そして、しばか
芝刈りをして、それをくりかえすことで葉やくきがぎっしりつまったじょうぶなしばふにします。

ひりょう しばか
肥料をまくことと芝刈りをするのは、つよ
強くてじょうぶなしばふにするためにとても大切なことなのです。

すない 4. 砂入れ

すな なぜ砂をまくの？

「砂入れ」は芝生の上から砂をまいてやることです。芝生をずっと使っていると、その下の土や砂もだんだんけずれて少なくなっていくます。そうすると、芝生が根やくきを伸ばす場所が少なくなってしまうます。だから、芝生が根やくきを伸ばす場所をふやすために砂をまいてやります。砂をまくと、その砂の中に新しい根やくきを伸ばしていきます。他には、グラウンドのでこぼこを平らにするために砂を入れることもあります。

すな どうやって砂をまくの？

芝生の上にショベルなどで砂を運んでから、ホウキなどでうすく広げていきます。砂をまく場所が広いときは、砂をまく機械を使ってまくこともあります。砂のまき方で大事なものは、芝生の葉っぱが砂から出るようにうすくまくことです。また、砂入れをおこなう回数は年1～2回くらいです。

◆ すない 砂入れのようす



すな ひろ
ホウキでうすく、うすく、砂を広げて
いきます。



ひろ すな きかい つか
広いところでは、砂をまく機械を使う
とはやくまくことができます。

あな 5. 穴あけ（コアリング）

あな なぜ穴をあけるの？

しばふ なが じかん ね の
芝生ができてから長い時間がたつてくると、根やくきがたくさん伸びすぎて
きゅうくつになり、また、根やくきも古くなってくるので、しばふ げんき
芝生が元気でなくな
ってきます。

また、ずっとふまれつづけてきたことでしばふ した つち かた
芝生の下の土がだんだんと固くなっ
てきます。そうすると、みず ひりょう つち なか
水をまいても、肥料をまいても、なかなか土の中にし
みこんでいなくなり、くうき はい
空気も入りにくくなってしまいます。また、つち かた
土が固く
なるとしばふ ね の
芝生の根も伸びにくくなります。根が伸びないと根からたくさんの水や
えいよう しばふ よわ
栄養をとれなくなるので芝生が弱くなってしまいます。

そうなったときに、しばふ した つち あな つち ぬ みず ひりょう
芝生の下の土に穴をあけて土を抜いてやり、水や肥料や
くうき つち なか はい
空気が土の中に入りやすくなるようにしてあげます。また、あな
穴をあけたときに
しばふ ね き あたら ね だ しばふ わか
芝生の根を切ることで、そこから新しい根を出させることにより芝生を若がえ
げんき
らせて元気にします。

ただし、しばふ ね き しばふ おお あな
芝生の根を切るとは芝生にとってダメージも大きいので、穴をあ
けるのはしばふ げんき せいちょう じ き
芝生が元気で、よく生長する時期にしなければなりません。

しばふ せいちょう じ き ね あたら ね で の
芝生がよく生長する時期は、切れた根からまた新しい根がどんどん出て伸
びるのでしばふ げんき しばふ せいちょう じ き ね き
芝生は元気になるのですが、芝生があまり生長しない時期に根を切る
と、ぎやく しばふ よわ
逆に芝生を弱くしてしまうので気をつけなければなりません。

あな どうやって穴をあけるの？

ひと てさぎょう あな しばふよう あな き つか
人が手作業で穴をあけるときには、芝生用の穴あけ器を使います。

第4章 芝生の育て方

穴あけ器の先っぽには、穴のあいた鉄のつめが付いているので、その鉄のつめを土の中にさして、穴をあけ、土をぬきます。

ただ、芝生の面積が広いところでは、全面を人が手作業で穴をあけるのは時間も体力もかかって大変です。

芝生の面積が広いところで全面に穴をあけるには、穴をあけるための機械を使います。穴をあける機械を使えば、広いところでもはやく穴をあけることができます。

◆ 穴あけのようす



穴あけ器を土にさして、穴をあけます。



穴をあけると同時に、芝生の下を土をぬいてやりま
す。(矢印がぬいた土)



穴をあける場所が広いときは、穴をあける機械を使います。



機械についている鉄のつめを土にさして穴をあけていきます。

6. オーバーシード（^{あき}秋のタネまき）

「オーバーシード」^{なに}って何？

「オーバーシード」とは、英語の「オーバー（over）」と「シード（seed）」を組み合わせた言葉です。

「オーバー（over）」は英語で『^{うえ}上から』という意味で、「シード（seed）」は『^{い み}タネをまく』という意味です。つまり、「オーバーシード」とは、「^{しばふ}芝生の上から^{うえ}タネをまく」ことです。

^{しばふ}芝生には「^{なつしば}夏芝」と「^{ふゆしば}冬芝」の2種類があると第1章で紹介しました。

「^{なつしば}夏芝」は暑いのが大好きで、暑いときほど^{げんき}元気に^{せいちょう}生長します。でも、^{あき}秋になるとだんだん^か枯れてきて、^{ふゆ}冬の^{あいだ}間はまったく^{せいちょう}生長しなくなります。

逆に、「^{ふゆ}冬芝」は暑いのは苦手ですが、^{あつ}ずしいのが大好きで、^{ふゆ}冬になっても^か枯れません。

^{こうてい}校庭の^{しばふ}芝生が「^{なつしば}夏芝」だった場合、^{ふゆ}冬には^か枯れて^{せいちょう}生長しなくなってしまう

◆ ^{なつしば}夏芝…^{なつ}夏と^{ふゆ}冬のちがい



^{なつ}夏はよく^{せいちょう}生長し、^{あおあお}青々としています…



^{あき}秋になるとだんだん^か枯れてきて、^{ふゆ}冬になると^{かんぜん}完全に^か枯れて^{せいちょう}生長しなくなります。

第4章 芝生の育て方

枯れてしまった夏芝は、葉やくきが切れたり、ちぎれたりすると、もう生長しないので、枯れてしまった夏芝を使っていると芝生がどんどん無くなっていきます。

芝生がすっかり無くなってしまうと、芝生の上で遊ぶことができなくなってしまいます。また、元どおりの芝生になるのがとても大変です。

そこで、夏芝が枯れはじめる秋（9月のおわり～10月のはじめ）に、冬でも枯れない冬芝のタネをまいて冬芝を生やしてやります。その冬芝で、夏芝が再び元気に生長しはじめる春が来るまで夏芝を守ってあげるのです。

冬芝はすずしいのが大好きなので、秋や春に一番元気に生長します。冬芝がぐんぐん生長して冬芝で緑いっぱいになれば、冬の間も緑の芝生の上で遊ぶことができます。

◆ 冬芝のタネ／オーバースードのようす



これが冬芝のタネです。とても小さくて、細長いかたちをしています。



冬芝のタネをまいている（オーバースードしている）ところです。肥料をまく道具を使ってタネもまいています。

どうやってタネをまくの？

タネは、タネをまく道具を使ってまきます。タネをまく道具もいろいろ種類がありますが、肥料をまく道具と同じ道具（サイクロン式肥料まき器）を使ってまくことができます。

第4章 芝生の育て方

また、タネはむらなくまかないといけません。タネがたくさんまかれたところや、少ししかまかれなかったところがあると、芝生がものすごくかたまって生えてくるところや、まったく生えてこないところが出てしまうからです。

オーバーシードで大切なこと

オーバーシードで大切なことは、芽を出した冬芝が生長してじょうぶになるまで、芽を出してから少しの間（少なくとも1～2週間）、芝生を使わないで冬芝をしっかりと育ててあげることです。

（※このことを『養生（ようじょう）する』と言います。次の「7. 養生（ようじょう）」のところでも説明します。）

タネをまいたあと、冬芝が芽を出したばかりのときは葉も細く、やわらかいので、芽を出したとたんに芝生を使ってしまうと、せっかく芽を出した冬芝もすぐに切れたり、ちぎれたりして無くなってしまい、オーバーシードをした意味がなくなってしまいます。

ここでしっかりと冬芝を育てれば、夏芝を春までしっかり守ることができ、守られた夏芝は春が来ればまた元気に芽を出し、夏になれば、ふたたび冬芝にかわってグラウンドいっぱいに広がります。

◆ 生長した冬芝



芽を出した冬芝が生長して、一面、冬芝でみどりいっぱいになりました！

少しの間だけ芝生が使えるせんが、ここで芝生にお休みをあげて冬芝をしっかりと育ててあげることで、1年を通して考えれば、元気な芝生の上でより多く遊べるようになります。

このように、オーバーシードは芝生が無くなることなくずっと続いていき、より多く芝生で遊べるようにするためにも大切な作業なのです。

7. 養生（ようじょう）

養生（ようじょう）って何？

「養生（ようじょう）」とは、芝生にちょっとお休みをあげて、芝生が育つことだけに集中させてあげることです。

例えば、一つ前に説明した「オーバーシード」では、冬芝のタネをまいたあと1週間くらいたてば芽が出てきます。でも、芽が出てきたからと言ってそこですぐに芝生を使うと、出てきたばかりの芽は人間で言えばまだ赤ちゃんなので、葉も細くてやわらかく、すぐに切れたり、ちぎれたりして無くなってしまいます。

だから、新しい芽が出たら、しばらくは芝生を使わずに、芝生に少しお休みをあげて、じょうぶな大人の葉になるまで見守ってあげましょう。

◆ 養生（ようじょう）のようす



芽を出したばかりの冬芝です。まだ赤ちゃんなので、芝生を使わないで、じょうぶになるまでこのまま育ててやりま。



タネをまいたあと、寒いときは、このようにシートをかけてあげて、あたたくしてあげると芽が出やすくなります。これも「養生」です。

第4章 芝生の育て方

また、芝生をよく使ってしまって、芝生がすりきれたり、はげたりしてしまった場所ができてしまった場合には、その場所に砂を入れてあげて、その場所だけ少しの間、使わずに休ませてあげます。

そうすると、芝生はまた新しい砂の中に根やくきを伸ばすことに集中できるので、すりきれたり、はげたりしてしまった場所にも、また元のように芝生が生えてきます。

人の場合でも、赤ちゃんには優しくしてあげると思いますし、家族や友だちがケガをしたり、病気になったときは、治るまでゆっくり休ませてあげると思います。芝生にとっても同じことなのです。そして、それが「養生」するということです。

芝生が赤ちゃんのとき（芽が出たばかりのとき）は優しくしてあげてください。芝生がケガをしたとき（すりきれたり、はげてしまったとき）には治るまでお休みをあげてください。

家族や友だちを大切にするように芝生にも接してあげれば、芝生はずっと楽しく遊べる場所をあたえてくれますから。

もちろん、芝生がじょうぶで元気なときは、芝生の上でどんどん遊んでくださいね！

おわりに

しばふ こうてい 芝生の校庭について、たくさんのことを紹介してきましたが、しばふ しょうかい 芝生のこと、
しばふ こうてい 芝生の校庭のことをいろいろ知ってもらえたでしょうか。

さいご よ 最後まで読んでもらって、読むまえより、しばふ こうてい きょうみ 芝生の校庭への興味や、しばふ こうてい
す き も おお 好きな気持ちが大きくなったり、ワクワクしてより あそ 遊びたい気持ちになっ
しばふ げん き そだ き も たり、芝生を元気に育ててあげたいという気持ちがわいたりしていたら、とても
うれしいです。

そういう き も おも 気持ちや想いがあれば、きっと しばふ こうてい なか よ 芝生の校庭と仲の良いともだちにな
れと思います。毎日 いっしょにおも いっき あそ 遊び、また、ときにはいたわり
ながら、どんどん 仲良くなっていってほしいと思います。そして、しばふ こうてい
たの まいにち おも いっしょに楽しい毎日をおくっていてももらえたらと思います。

ほん しばふ こうてい この本が、みなさんが芝生の校庭といっしょに楽しい毎日をおくことに少
やくだ おも しでも役立てばうれしく思います。そして、みなさん自身 がここに書いていな
はっけん だ いこともたくさん発見したり、アイデアを出したりして、より楽しい しばふ こうてい
たの 芝生の校庭にしていってください！

2007年 7月

とくてい ひ え い り かつどう ほうじん 特定非営利活動法人(NPO) しばふ きょうと 芝生スクール京都

◆ しばふ しばふ こうてい 芝生や芝生の校庭について、わからないことや、知りたいことがあったら、わたし しばふ
きょうと 京都に、いつでも なん き 聞いてください。『しばふ きょうと 芝生スクール京都』は、みなさんが しばふ こうてい
たの まいにち 芝生の校庭といっしょに楽しい毎日をおくってもらえるように、みなさんと芝生の校庭を応援します！

【『しばふ きょうと 芝生スクール京都』への連絡先はこちら！】

でんわ 電話：075-213-2225 / FAX：075-231-3561 / メール：info@shibafu-school.com

◆ 参考文献／サイト ・ 写真出典

【参考文献／サイト】

- ・ 北村 文雄『芝生のすすめ みんなの芝生読本』（ネット武蔵野）
- ・ 21 世紀校庭緑化研究会ホームページ内サイト『芝生キッズクラブ』
<http://www.koutei.jp/kids/>

【写真出典】

1. 21 世紀校庭緑化研究会ホームページ内サイト『芝生キッズクラブ』
<http://www.koutei.jp/kids/>
2. 特定非営利活動法人(NPO) 芝生スピリット ホームページ
<http://www.shibafu.com/>
3. 特定非営利活動法人(NPO) グリーンスポーツ鳥取 ホームページ
<http://www.greensportstottori.org/>
4. 財団法人富山県民福祉公園ホームページ内サイト『公園の芝生について』
<http://www.toyamap.or.jp/shibafu/>

はじめての芝生の校庭 ～芝生を知ろう！楽しもう！育てよう！～

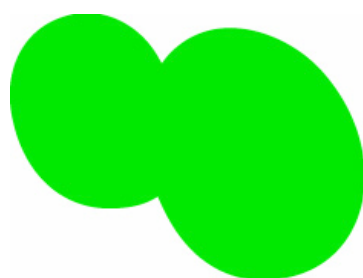
編・著 特定非営利活動法人(NPO) 芝生スクール京都

〒604-0022 京都市中京区室町通御池上る御池之町 309

TEL : 075-213-2225／FAX : 075-231-3561

E-mail : info@shibafu-school.com

Copyright (C) 2007 特定非営利活動法人(NPO) 芝生スクール京都, All rights reserved.



Shibafu
School
Kyoto